

学校評価の分析結果

平成28年度
安城南部小学校

1 自己評価の方法

- 1 元気なあいさつと、はっきりとした返事をします。
- 2 人の話を、目と耳と心で聴きます。
- 3 意志の力で、やるべきことは粘り強く、最後までやります。
- 4 いじめをなくし、人と物を大切にします。
- 5 落ち着きと活気を使い分け、明るく楽しい学校をつくります。
- 6 よく食べ、よく運動し、健康な体をつくります。
- 7 交通事故や災害から、自分の身は自分で守ります。
- 8 家族や地域の人の温かい支えに、いつも感謝します。

3年生以上の児童、保護者（PTA役員・実行委員・常任委員）、教職員を対象に、学校評価を行いました。

左記の「南部小児童憲章」を柱にした評価項目になっています。

昨年度と本年度の学校評価の結果から、分析・検証し、改善策を示します。

全ての質問に対して「4=よくあてはまる、3=ややあてはまる、2=あまりあてはまらない、1=あてはまらない」の4段階で回答しました。結果の数値は、評価4と3の合計%です。

4月に、教育目標を児童、保護者、地域の方、教職員に示し、学校と保護者・地域が連携した教育活動を目指してきました。以下がその結果です。

2 評価結果

① 児童の評価

数値は4・3の%

		診 断 項 目	本年度	昨年度
学びづくり	1	授業のあいさつは、心を込めて「だいじょうぶ。気持ちを切り替えた」と、先生とアイコンタクトできた	85.6	75.8
	2	鉛筆の正しく持ち方や良い姿勢を意識し、ていねいに形のよい文字を書くことを心がけた	77.1	73.0
	3	人の思いや考えを受け止めて、自分の思いや考えを進んで発表することができた	69.9	66.1
	4	人の話を、目と耳で聴くことができた	91.8	89.1
仲間づくり	5	明るくさわやかな気持ちを伝えようと、元気なあいさつやはっきりした返事ができた	84.6	76.4
	6	正しい言葉遣いで、よい関係をつくることを心がけて話すことができた	86.6	80.4
	7	落ち着きと活力を使い分け、明るく楽しい学校生活をおくることができた	91.1	83.9
	8	いじめをなくし、人や物を大切にすることができた	92.4	88.8
からだづくり	9	よく食べ、よく運動し、健康な体づくりをすることができた	92.1	87.9
	10	かぜの予防やけがをしないように気をつけることができた	84.9	84.5
くらしづくり	11	「早寝・早起き・朝ご飯」に努め、健康な生活を心がけた	83.6	80.4
	12	登下校は交通安全に気をつけ、通学班のトラブルがないように気をつけることができた	89.7	90.1
はたらきづくり	13	そうじの時間は、無言で真剣に取り組み、自分の役割を果たした	84.6	72.7
	14	学級(委員会)など、係の仕事を一生懸命に取り組むことができた	96.6	91.3
	15	家族や地域の人たちに、感謝の気持ちをもつことができた	95.2	90.1
先生へ	16	先生はわかりやすく授業をしてくれる	94.2	89.1
	17	先生は間違っていることやおかしいことには、厳しく指導してくれる	89.7	84.5

② 保護者の評価

数値は4・3の%

		診 断 項 目	本年度	昨年度
信頼される開かれた学校	1	学校は、教育目標・教育方針・教育活動を分かりやすく知らせている。	94.6	89.7
	2	学校は、地震や風水害や不審者の対応について子どもや保護者に分かりやすく伝えている。	94.6	94.9
	3	学校は、施設・設備の充実に努めている。	97.3	97.4
	4	学校は、規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	91.9	94.9
	5	先生は、子どものよさを見つけ、認めてくれている。	94.6	92.3
	6	先生は、子どものまちがった行動を適切に指導してくれる。	94.6	87.2
	7	先生は、いじめや問題行動に対して真剣に動いてくれる。	86.5	76.9
	8	先生は、子どものことについて、相談しやすい存在である。	86.5	82.1
学び	9	子どもは、授業が楽しいと言っている。	86.5	82.2
	10	子どもは、粘り強く最後までがんばろうとしている。	86.5	76.9
仲間	11	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	94.6	89.7
	12	子どもは、元気なあいさつや、はっきりとした返事ができる。	81.1	61.5
からだ	13	子どもは、病気やけがをしないように気をつけている。	89.2	89.7
	14	子どもは、進んで運動や遊びに参加する。	81.1	82.1
くらし	15	子どもは、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的生活習慣ができています。	75.7	76.9
	16	子どもは、交通安全に気をつけて生活している。	97.3	92.3
はたらき	17	子どもは、家の手伝いをよくする。	64.9	61.5
	18	子どもは、町内や公民館、歴史博物館など、地域の行事に進んで参加している。	78.4	69.2

③ 職員の評価

数値は4・3の%

経営方針		診 断 項 目	本年度	昨年度
【1】 教育目標とめざす子どもの姿の具現化に向け、創意と活力のある学校運営に努める。	1	学級に掲示した南部小児童憲章を基に、学年・学級経営に努め、児童の生活や行動を振り返る指導・助言に努めているか。	100.0	100.0
	2	朝のスキルタイムにおいて、落ち着いた雰囲気づくりに努め、スキル習得の徹底をしているか。	92.9	100.0
	3	授業のあいさつを、気持ちの切替を意識し、アイコンタクトでやっているか。	100.0	100.0
	4	南部小「学習の決まり」を基に、学習のしつけに努めているか。	85.7	100.0
	5	P D C Aサイクルを大切に、校務分掌をはじめ、様々な場面で、教育活動の工夫改善に心がけているか。	92.9	83.3
	6	子どもが安心していられる学級づくりをめざして、共感的な人間関係づくりといじめの早期発見、早期対応に努めているか。	100.0	100.0
	7	あなたは、日ごろから学級や社会のルールに触れ、規範意識を育成しているか。	100.0	100.0
	8	あいさつ・返事・ことばづかいの指導や道徳の時間を大切に、豊かな心づくりに努めているか。	92.9	100.0
	9	基本的な生活習慣を大切に、指導しているか。	100.0	100.0
	10	日ごろから、安全点検・交通安全に心がけ、児童の安全確保に努めているか。	92.9	100.0
【2】 学校と家庭・地域が相互連携を密にし、互いの信頼構築に努める。	11	保護者や地域の方々の声に耳を傾け、日々の教育活動に生かし、信頼されるように心がけているか。	92.9	88.9
	12	いじめ・不登校について、本人・保護者に対して、個に応じた適切な支援に心がけ、寄り添う姿勢で接しているか。	92.9	100.0
【3】 校内研修を充実し、学習指導要領に則った教育活動を推進するために、必要な研修を実施し、職員の資質と指導力の向上に努める。	13	研究テーマを理解し、コミュニケーション力を高めるために、独話・対話・交話を手だてに、教育活動に取り組んでいるか。	100.0	94.4
	14	教材研究を大切に、また自分の授業を見直し、子どもたちのために授業力・指導力を向上させようとしているか。	100.0	83.3
	15	発達障害児童に対する理解を深め、その指導方法を学ぼうとしているか。	92.9	83.5
	16	日ごろより、防犯・防災教育や交通安全に関して、児童の安全教育に努めているか。	92.9	94.4

3 結果の分析と改善策

① 児童の評価から

- 17の項目のうち、16項目が昨年度よりも向上しました。
- 【学びづくり】について（項目1～4）は、定着度が増えています。これは学力にも関係しますが、コミュニケーション力を育み、人間関係をよくする上でも大切なことです。まだ個別に指導・支援が必要な子もいます。「続ける」ことで力をつけ、項目1～4番のことは行うことで、満足感を味わう子どもたちにしていきたいです。
- 【仲間づくり・くらしづくり・はたらきづくり】については、意識する子どもが増えました。これは、南部小児童憲章を意識して生活するようになったことが考えられます。職員も、活動のふり返り場面で評価させています。
- 項目8番については、全国学力状況調査の結果でも、「いじめはいけないこと」という認識が薄い子が、1割弱います。地道に、愚直に、指導を繰り返していきます。
- 【先生へ】については、多くの子が満足しているようですが、1割～1割半の子が、満足していません。学級で言えば、3～4名の子が対象です。今後も個に応じて指導・助言していきます。

② 保護者の評価から

- 18項目のうち、12項目が昨年度よりも向上しました。
- 【信頼される開かれた学校】については、全体的に数値が上がりました。昨年度に比べ保護者の方からの理解・協力があり、信頼関係が構築しつつあると考えます。しかし、個々を見ると不信や不満の対象となるご意見やご要望をいただくこともあります。特に、我々職員が意識して「いじめ問題」に対応しております（職員用評価：12番）が、約2割の方が疑問に思われています。引き続き重点指導項目にしていきます。
- 【学び・仲間・からだ・くらし】については、特に12番は、生活委員会を中心に「あいさつ運動」を展開しております。数値は上がりましたが、個々に見ると、この力が身についていない子も見られます。これから社会を生き抜く上でも最重要事項です。家庭・地域の協力を得ながら、繰り返し繰り返し、子どもに指導・助言していきます。
- 【はたらき】については、子どもたちが家での手伝いをする子が減ったと思われる方が増えました。学校でも、特に長期休業前にはこのことを指導しています。ご家庭でも手伝えるべきことを明確にさせていただき、ご家庭で話題にいただけたらと思います。
- 18番の地域行事への参加です。校長自らが全校集会で呼びかけ、担任からも指導助言をした結果、参加する子どもがたいへん増えました。南部小学区の方々は、これまで学校に対して、数多くのご協力・ご支援をいただいております。南部小としても地域の行事や活動に対して、協力・参加を促しております。この夏休みも歴史博物館・安祥福祉センター・各公民館等への利用を呼びかけ、多くの児童・保護者の方々が見学・活用しました。その結果、のべ691名の子が参加しました。今後も、「地域あつての学校」をモットーに、地域とのかかわりを大切にした学校づくりに努めてまいります。

③ 職員の評価から

- 【1】については、全職員が、経営方針の具現化を図る手だてを充実させ、指導・助言につとめていることが数値に表れています。しかし、よき姿として現れていない子どもも若干います。引き続き、ていねいに根気強く指導・助言をしていきます。
- 5番のPDCAサイクルを構築し改善を図るように共通理解はしていますが、多忙化や様々な指導のため、おろそかになっていると感じます。学校を成長させていくためには大切な活動です。適宜、ふり返りをする機会を設け、意識化を図っていきます。
- 【2】については、いじめ・不登校問題に、「南部小いじめ防止基本方針」を基に、未然防止・早期発見・早期対応に心がけています。しかし、子ども・保護者の評価は、職員の評価ほど高くはありません。見逃していたり、対応に時間がかかることが予想されます。職員同士声を掛け合って対応していきます。
- 11番も数値は上がりましたが、コミュニケーション不足から、保護者の方に不信感や困り感が募るケースがありました。保護者の方との連携を密にし、協働して子どもたちの健全育成を図ることを再確認します。
- 【3】については、本校の現職教育の方向性や手だてを、職員が共通理解し取り組んでいることがわかります。特に「独話・対話・交話」を段階的に指導し、コミュニケーション力を育てています。
- 一方、項目15番は、本校の最重要課題としてとらえ、日々の教育活動で意識して取り組んでいます。しかし、まだ指導力不足の面が見られます。校内研修を充実させ、個に応じた適切な支援を共通理解し、どの子も、「わかる・できる活動・授業」をめざし、授業力・指導力を高めていきます。

4 平成28年度 保護者の方のご意見

◎よい点

・昨年度の比べて、学校・先生・子ども、すべて充実していて輝いている。現在子どもを見ていて、学校の目標とする「力いっぱい」が心の中にあり、行動している。とても良いと思います。
・学校の雰囲気が良い。先生が先生を楽しんでいる様子が見られ、素晴らしい。
・嫌なことも投げ出さずできるようになってきた。何事も一生懸命やる姿があります。
・友達を思いやるようになってきた。
・PTA委員になり、いろいろな行事に参加することが増え、人とのつながりが増えました。
・今まで一度も嫌がることなく学校へ行っているので安心します。学校の様子を定期的に伝えていただけるとありがたいです。
・元気に登校しています。先生をととても信頼しているようです。
・学校での出来事を、良いことも悪いことも話してくれます。
・子どもが、校長先生と一緒に給食を食べてとても楽しかったと言っていました。ぜひ続けててもらえると嬉しいです。

●問題点・改善点

①通学班の中で連絡をとる手段がなく、大雨の時など困るときがある。班長さんのお宅だけでも連絡先を伝えるべきではないか。
【回答】 プライバシーに関わりますが、連絡の必要性はあります。学校で検討し、保護者の了解を得て、改善しています。
②課外活動がある日の帰り道、一人になってしまうことがある。通学路が少し違っても、一緒に帰る子がいる道を許可していただきたい。
【回答】 安全上必要な対応です。ご指摘ありがとうございます。申し出により許可します。

③緊急メール配信をもっとやってもらえないか。急に課外活動がなくなったときや、駐車場が運動場になることなどを知らせてほしい。

【回答】

保護者の皆様の立場から、当然のご指摘です。より多く、適切に緊急メール配信を行っています。

④学芸会の衣装ですが、特殊なものがあり、わかりやすく説明したものと、購入しなくてもよくなるので、教えてもらいたい。

【回答】

学校だよりでお知らせしておりますが、不明な点がありお詫び申し上げます。今後、保護者の皆様の立場に立って、個別にご連絡をさせていただきます。一方、ご不明な点があれば、学校までご連絡ください。

⑤子ども一人一人を見てあげてほしいです。

【回答】

日ごろから校長より、指導されていることであり、教員として当然のことです。様々なことが重なり、見逃す可能性がありました。今一度戒め、子どもに寄り添ってまいります。

⑥バラバラで登校している通学班があり気になる。

【回答】

毎日のように、班ごとに集め、指導・助言をしております。指導を継続し、全職員で取り組んでいます。改善されない場合は、ご家庭に協力を求めることもあります。よろしくお願いします。

⑦朝の時間帯、通行禁止になっている道を車が通っている。警察に電話したが全く対応してもらえない。学校からも通学路の点検をしてほしい。

【回答】

昨年度もある地区でご意見をいただき、警察署に地図と対応策を持参し、説明に伺いました。その地区をご連絡ください。再度警察に連絡します。また、町内会とも連携して対応します。

*「いじめに関する情報」をいただきました。プライバシーに関わるものであり、具体的にはお示しできませんが、すぐに対応しました。解決するまで継続的に観察・指導してまいります。

5 今後の改善策

学校評価結果を受け、次の点から改善の方策を図りたいと考えています。

1 教育活動・授業について指導法の工夫など改善を図る。 (全国学力・学習状況調査の結果も踏まえて)

- (1) 「いじめはいけない」「学校は楽しい」「人の役に立つ人間になりたい」「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答しなかった児童に焦点を当てた指導を徹底する。特に、道徳の授業を充実させる。
- (2) 最後までやり遂げたり、学級みんなで協力してやり遂げたりした喜びを経験していない児童もいる。学級でいろいろな機会を設け、喜びを味わわせる工夫をする。
- (3) 国語の授業はよくわからないと約30%の児童が答えている。指導すべき事項をきちんと押さえ、話す・聞く力、書く力、読む力、言語事項、すべての領域で、学力を付けるように指導を進める。
- (4) 各学年で習得しておくべき基礎的・基本的な知識・技能の定着が不十分なものがみられた。基礎・基本の定着と、学力の向上の為に指導に取り組む。また、家庭学習（宿題）とも連携し、効果的に基礎・基本の定着させる。
- (5) 新学習指導要領に、「主体的・対話的で、深い学び」をめざす、アクティブ・ラーニングによる授業改善が示されます。ICT活用授業とともに、具現化に取り組みます。

2 「あいさつ・返事ができる」子どもを増やすことから、さらに「コミュニケーション力」を育てる。

＊昨年度に引き続き、指導を継続します。

- ・学級には声の小さい子がいる。こうした児童が自信をもって発表できるよう、「音読」「スピーチ」活動を通して、声を出すことに慣れさせる。
- ・授業の始めと終わりのあいさつをしっかりと行う。待つという姿勢で指導を行う。
- ・まわりの人に聞こえる声で言えるよう、繰り返し指導する。
- ・学活や道徳の時間で「あいさつすることのよさ」などを考える授業を計画する。しつけとして、授業中の返事の指導をきちんとする。
- ・教師自ら大きな声であいさつを行う。児童会と協力して「あいさつ週間」を設け、あいさつの大切さを伝えていく。
- ・「6年生があいさつがしっかりできる学校は、学校全体ができるようになる」ことを機会あるごとに伝え、自分たちの力でよくしたいという意識をもたせる。
- ・「独話・対話・交話」を段階的に指導し、コミュニケーション力を育み、人間関係づくりのスキルを身につけさせる。

今後も、学校と家庭が連携を図りながら、めざす子どもの姿の実現のために、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。